



牧が丘

学校教育目標

- ◆自主 自主的に学習し生活する。
- ◆創造 発想を広げ創意工夫する。
- ◆奉仕 広い視野に立って、思いやりの心(愛)で行動する。



清々しい汗と涙 ～芳賀郡市総合体育大会より

6月9日から始まった芳賀郡市総合体育大会各種大会は、28日の陸上大会を残して全日程を終了しました。大会前の6月7日の校長講話では、【運命は変えられる】と題して、「結果や運命を変えることができるのは自分自身です。何か一つちょっとだけ違った考え方や行動で未来は変わります。総体では心からの汗と涙を流して下さい。」と伝えました。

大会では、どの部活動でも接戦が繰り広げられました。デュースを繰り返し死闘を繰り広げたものの決勝トーナメント進出を逃したバレーボール部。優勝候補の一角を初戦で破ったものの県大会出場逃したサッカー部。全員野球でリードしつつも逆転を許してしまった野球部。あと1ポイントという試合を落としたものの練習の成果を発揮した男子ソフトテニス部。全員テニスで予選リーグを勝ち上がりあと一歩で県大会というところで惜敗した女子ソフトテニス部。団体戦で見事準優勝し県大会に駒を進めた男子卓球部。ダブルス2ペア、個人戦でも3名が県大会に駒を進めました。団体戦でも県大会出場が期待された女子卓球部は、惜しくも県大会を逃してしまいました。しかし、ダブルスで1ペア、シングルスで3名が県大会への出場権を手に入れました。

応援に各会場を回り、中村中学校生徒の勇姿を目にしました。仲間と励まし合う姿。共に喜ぶ姿。あと一歩で勝利を逃した本物の悔し涙。私の脳裏に、『清々しい』という言葉が第一印象に浮かびました。それほど、中村中学校の生徒たちは、純粋に競技したということです。

約2年3ヶ月、暑い日も寒い日も顧問の先生と共に切磋琢磨した生徒たちに心からの敬意を表します。



サッカー部



野球部



バレーボール部



卓球部男子



卓球部女子



男子ソフトテニス部

学校がすべての生徒にとって安全基地であるために ～いじめ防止サミット～

6月5日に、生徒会が主催・運営する「いじめ防止サミット」を開催しました。生徒会からの説明を受け、各学級で「いじめの起こりにくい雰囲気と環境をつくるためには」について話し合いました。

「相手の気持ちを尊重したり考えたりして生活する。」「他人を侮辱しない。助けを求めやすい関係が成り立っている環境を作る。」「差別を許さない態度。」「いじめは絶対にだめという意識。」といった意見が出されました。

平成25年に制定された「いじめ防止対策推進法」においても、第四条に、「児童等はいじめを行ってはならない。」と明確に禁止しています。また、基本理念には、いじめの防止には、学校・地域住民・家庭が連携していじめ問題を克服することを目指すと書かれています。

育ってきた環境、価値観や考え方が異なる356名の生徒と一緒に生活する学校です。当然のごとく、小さな摩擦や意見の食い違い、時には言い争うこともあります。これらの違いを感じて生活することこそが、社会にでる準備です。しかし、一方的に誹謗中傷したり、相手が傷つく言動をとることは決して許されません。

中村中学校が、356名全ての生徒にとって安全基地であるために、学校は学校の果たすべき役割を再確認し、保護者の皆様にもいじめは決して許されぬことをご指導いただけますようお願いいたします。



女子ソフトテニス部



いじめ防止に向けて真剣に話し合う3年生

あいさつがこだまする

毎朝、地域の方々と一緒に生徒の登校を見守っていますが、中村中学校の生徒たちは本当に気持ちの良い挨拶をしてくれます。適切なのかどうかはわかりませんが、全ての生徒に手を振って「おはよう。」と声をかけると、最近では多くの生徒が手を振りかえし、笑顔で「おはようございます。」と挨拶をしてくれます。概ね30分ですが、一日の希望を与えてくれる30分となっています。

「あいさつがこだまする素敵なか村中」に感謝する日々です。

【子育てティータイム】共依存しない子育て

子育ては誰にとっても初めての経験であり、正解がないものです。だからこそ、様々な機会に学び、自分自身の子育てを振り返ることが重要だと考えます。

今回は、『共依存しない子育て』をテーマにお伝えします。小学生のスポーツ大会などを見ると、子どものプレーに一喜一憂し、時には子どもと一緒に悔し涙やうれし涙を流す保護者の方を目にします。子どもと一緒にになってプレーしている気持ちになり、素敵な涙だなど感じます。一方で、「子どもと自分は別な存在である」と分解して考える能力も子育てには必要です。例えば、友達との人間関係に悩み苦しんでいるとき、共依存して一緒に悲しんだり、一緒に相手を批判してしまうと、子どもは自ら解決する能力を養う機会を失ってしまうことにもつながりかねません。「悩んでいるけど、我が子なら自分で解決策を見つけ、関係改善をするだろう。それまで見守ってあげよう。」と戦略的に分解して考えてあげる時も場合によっては必要です。今は感情を共にしよう。今は分解しよう。子育てにはそんな戦略も重要だと思います。



令和5年度郡市総体結果 6/9(金)～

生徒の活躍の様子です。個人情報保護の観点から、個人名の掲載は控えさせていただきます。

部	団体	個人
野球	1回戦 対真岡・真岡西・長沼 8-3 勝 2回戦 対真岡東・田野・七井 2-3 負 少年野球大会出場決定戦 対物部 7-0 勝 対益子 0-7 負	
サッカー	1回戦 対市貝・真岡東 3-2 勝 2回戦 対茂木 1-2 負	
バレーボール	予選リーグ敗退	
卓球	男子 準優勝 県大会出場	男子シングルス ・3位 県大会出場 ・ベスト8 県大会出場 ・ベスト16 県大会出場 男子ダブルス ・準優勝 県大会出場 ・ベスト8 県大会出場
	女子 5位	女子シングルス ・準優勝 県大会出場 ・ベスト16(2名) 県大会出場 女子ダブルス ・3位 県大会出場 1年生女子シングルス ・準優勝
男子ソフトテニス	予選リーグ敗退	・ベスト8
女子ソフトテニス	決勝リーグ進出 対市貝 0-2 負	・2回戦敗退

避難訓練(不審者対応)を行いました

6月16日(金)に、不審者対応の避難訓練を行いました。当日は、真岡警察署生活安全課の方と中駐在所の方がお越し下さいました。教員は不審者対応の訓練、1年生の代表生徒は声かけ事案の対応、全校生徒は避難経路の確認など、具体的な訓練を行うことができました。



教員は不審者対応の訓練をしました



1年生代表は警察への通報訓練をしました